

第2期四万十町まち・ひと・しごと創生総合戦略（R2～R6）の数値目標・KPI達成状況及び効果検証

基本目標	事業概要	施策の基本的方向	数値目標又はKPI（重要業績評価指標）	所管課	目標値	実績（累計ではない）			KPI達成度 （%） 実績値/目標 値	効果検証		
						R2	R3	R4		中間年評価	左記の理由及び今後の方針	
1 地域の特性を生かした雇用を創出する	若年層を中心とした転出超過の抑制と魅力ある産業づくりを目指す	1-1 地場産業の強化	（KGI） 数値目標	新規就農者数（雇用就農を含む累計）	農林水産課	5年間で100人	23人	18人	13人	/	2 まずまず順調に進んでいる	新型コロナの影響による生姜価格の下落や、資材高騰による施設園芸の就農者減が考えられるが、今後も支援策等を積極的に紹介し、新規就農者確保に努める。
				起業・創業者数（累計）	にぎわい創出課	5年間で25人	4人	1人	4人		3 あまり順調に進んでいない	企業者数は増加したがコロナ禍により起業者数が減少したこともあり、目標値を下回っている。
			（KPI） 重要業績評価指標	集落営農組織の法人化（累計）	農林水産課	5年間で5法人	0法人	2法人	0法人	/	2 まずまず順調に進んでいる	2法人増加となり、まずまず順調。今後も関係機関と連携しながら法人化による体制強化を図っていく。
				農地中間管理事業による集積面積（累計）	農林水産課	5年間で100ha	21.2ha	10.3ha	9.1ha	/	2 まずまず順調に進んでいる	機構を通じた集積はH28より順調に進めてきたため近年は減少傾向にあるが、今後基盤整備地による集積が見込まれ、目標値に近づく予定となっている。
		町内高校生の町内での就職者数（累計）		人材育成推進センター	5年間で20人	5人	12人	5人	/	1 順調に進んでいる	すでに目標値を達成しているため。	
		企業誘致数（累計）		にぎわい創出課	5年間で1か所	0	1	1	/	1 順調に進んで	すでに目標値を達成しているため。	
		企業立地数[工場の増設数]（累計）		にぎわい創出課	5年間で2か所	0	0	0	/	3 あまり順調に進んでいない	コロナ禍の影響が大きい。今後は景気回復と共に増加すると考えられる。	
		商品販売額[あぐり豚まん、アイス]（年間）		農林水産課	5年後に255,262千円	149,036千円	159,903千円	145,431千円	/	3 あまり順調に進んでいない	新型コロナの影響もあり、あまり順調に進んでいないが、今後は専門家との協働による販売戦略を作成し、外商強化を図っていく。	
		「四万十ポーク」ロゴマークの商標登録		農林水産課	5年後までに登録完了	×	登録完了	登録完了	/	1 順調に進んでいる	ロゴマークの商標登録はR3登録完了。今後は「四万十ポーク」ブランドの定着・認知度向上に向けた取組を進めていきたい。	
		町産材利用促進事業を活用した住宅建築数（累計）		建設課	5年後に285棟（R1:180棟）	16棟	13棟	13棟	/	2 まずまず順調に進んでいる	近年の木材高騰により申請件数が減少したと思われる。令和5年度より農林水産課で事業を継続する。	
		1-2 外商の強化		民有林における素材生産量	農林水産課	5年間で150,000m ³	29,547m ³	38,608m ³	32,941m ³	/	1 順調に進んでいる	3年間の平均は33,000m ³ を超えており順調に進んでいる。今後も森林環境譲与税等を活用しながら、生産量増加に向けて取り組んでいく。
		「四万十ヒノキ」ロゴマークの商標登録		農林水産課	5年後までに登録完了	登録完了	登録完了	登録完了	/	1 順調に進んでいる	商標登録は完了。今後は、四万十ヒノキブランド化推進協議会において取扱い事業者数の増加を目指す。	

基本目標	事業概要	施策の基本的方向	数値目標又はKPI（重要業績評価指標）	所管課	目標値	実績（累計ではない）			KPI達成度 （%） 実績値／目標 値	効果検証			
						R2	R3	R4		中間年評価	左記の理由及び今後の方針		
2 四万十町への新しい人の流れをつくる	移住定住の促進、自然環境との調和を考慮した生活環境づくり、観光資源を生かした交流人口の拡大を図る		（KGI） 数値目標	移住者数（累計）	にぎわい創出課	5年間で400人	160人	187人	183人	/	1 順調に進んでいる	すでに目標値を達成しており、今後も移住施策を推進していく。	
				人口の社会動態（転入転出差）	にぎわい創出課	5年後までに年間△30人以下	△61人	△91人	△4人		2 まずまず順調に進んでいる	移住者等による転入数が多くあっても転出の歯止めが効かない状況がある。住宅施策などを推進し定住者の増加につなげていく。	
		2-1 移住・定住の促進		（KPI） 重要業績評価指標	移住相談件数（年間）	にぎわい創出課	5年後に250件以上	206件	275件	279件	/	1 順調に進んでいる	すでに目標値を達成しており、今後も更に移住促進プロモーションを強化していく。
					中間管理住宅整備数（累計）	にぎわい創出課	5年後に50戸	7戸	4戸	5戸		2 まずまず順調に進んでいる	資材等の関係から完成が遅れてはいるが、整備予定数では目標値を達成できる見込み。
		2-2 交流・関係人口の拡大		（KPI） 重要業績評価指標	観光客数（年間）	にぎわい創出課	5年後に670,000人	523,316人	537,853人	607,369人	/	2 まずまず順調に進んでいる	コロナでの規制が徐々に緩和され、人の流れがもとに戻りつつある。現状の計画どおり進めていく。
					イベント入込客数（年間）	にぎわい創出課	5年後に52,500人	2,784人	5,100人	19,498人		3 あまり順調に進んでいない	コロナでの規制が徐々に緩和され、人の流れがもとに戻りつつあるが、コロナをきっかけに廃止されたイベント等が複数ある。目標の修正を行いつつ、既存イベントの魅力発信に力を入れて交流人口の拡大を進める。
		2-3 四万十川の保全・活用		（KPI） 重要業績評価指標	四万十川における環境基準の適合状況（BOD）	企画課	5年後に全調査地点で適合	全調査地点で適合	全調査地点で適合	全調査地点で適合	/	1 順調に進んでいる	この状態を維持していきたい。
					川での体験イベント[川ガキ育成事業]参加人数（年間）	企画課	5年後に年間300人	0人	72人	105人		3 あまり順調に進んでいない	コロナや悪天候の影響により、年によっては活動自体ができない、又は参加者が少なくなるということがあるため、取組回数自体を増やしたり、期間を延ばすことでの対応を検討する。

基本目標	事業概要	施策の基本的方向	数値目標又はKPI（重要業績評価指標）	所管課	目標値	実績（累計ではない）			KPI達成度 （%） 実績値／目標 値	効果検証		
						R2	R3	R4		中間年評価	左記の理由及び今後の方針	
3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	誰もが希望する時期に、安心して妊娠・出産・子育てができる環境を整備する	3-1 結婚支援策の推進	数値目標 （KGI）	出生数（年間）	企画課	5年後に100人以上	83人	74人	62人	/	3 あまり順調に進んでいない	新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、婚姻数も大きく落ち込んでいることが影響したとみられるが、出生数の増加につながるような総合的かつ継続的な取り組みが必要である。
				総人口に占める年少人口の割合	企画課	5年後に9.3%	9.25%	9.11%	8.97%		3 あまり順調に進んでいない	近年続いている出生数の減少が影響していると思われる。今後は、出生数の増加につながる取り組みはもちろんのこと、子育て世代の定住につながる取り組みの強化が必要であると考え。
		3-2 出産・子育て環境の充実	重要業績評価指標 （KPI）	婚活サポーター登録者数	企画課	5年後までに新たに25人	0人	0人	1人	/	2 まずまず順調に進んでいる	婚活サポーターの新規登録者は1名のみとなっている。令和5年度からは、現在の県の婚活サポーター制度とは別で、四万十町版の婚活サポーター、サブサポーター制度の創設を検討しており、登録者数の増加を図る。
				婚活連絡協議会の開催[研修を含む]（年間）	企画課	年間4回	1回	2回	4回		1 順調に進んでいる	令和4年度に婚活支援プランの策定に向けて取り組んでおり、順調に進捗している。
				マッチングシステム出張登録会	企画課	年間1回	1回	0回	0回		2 まずまず順調に進んでいる	本年度は、県の意向により西部地区の開催は四万十市となったため、本町では開催していないが県と連携のうえ、マッチングシステムのPRに取り組んでいる。
				四万十町で今後も子育てをしていきたい人の割合	健康福祉課	5年後に100%	94.2%	96.7%	93.1%		1 順調に進んでいる	アンケート集計によるもの。目標達成に向け、相談しやすい環境整備に努める。
				ファミリーサポートセンターの利用者数（年間）	生涯学習課	5年後に年間300人	6人	56人	108人	2 まずまず順調に進んでいる	活動件数は伸びてはきているが、数値目標への到達が難しい状況。今後についても、事業周知に力を入れ会員増加へ繋げていく。	

基本目標	事業概要	施策の基本的方向	数値目標又はKPI（重要業績評価指標）	所管課	目標値	実績（累計ではない）			KPI達成度 （%） 実績値／目標 値	効果検証		
						R2	R3	R4		中間年評価	左記の理由及び今後の方針	
4 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守る	集落機能の維持を目的とした担い手の確保や公共インフラなどの環境整備と防災対策を強化し、将来のまちづくりを担う人材の確保を図る	4-1 将来を担う人材の育成	（KGI） 人材育成を通じた起業・事業プラン実現件数（累計）	人材育成推進センター	5年間で10件	4件	3件	1件	/	1 順調に進んでいる	順調に推移しており、この状態を維持していきたい。	
			自主防災組織の活動率	危機管理課	5年後に100%	90.8%	94.3%	95.5%		1 順調に進んでいる	引続き避難訓練や避難場所等の点検を行いながらマニュアルの更新や避難路等の整備した箇所の維持管理を行う。	
		4-2 安心してくらせるまちづくり	（KPI） 重要業績評価指標	しまんと未来大学受講者数	人材育成推進センター	5年間で300人	24人	24人	48人	/	4 順調に進んでいない	コロナ禍により、講座等の開設が難しくなったため、受講者数が伸びていないが、今後は徐々に増加する予定である。
				新文化的施設における本貸出冊数（年間）	企画課	5年後に100,000冊	0冊	0冊	0冊		4 順調に進んでいない	全国的な資材価格の高騰や資材の入手が困難な状況などもあり、施設整備が当初のスケジュールから遅れている。このため、文化的施設の開館については、最短でも令和6年度の終盤となる想定であり、計画期間中において成果を出すことは困難な状況である。
				新文化的施設への入場者数（年間）	企画課	5年後に50,000人	0人	0人	0人		4 順調に進んでいない	全国的な資材価格の高騰や資材の入手が困難な状況などもあり、施設整備が当初のスケジュールから遅れている。このため、文化的施設の開館については、最短でも令和6年度の終盤となる想定であり、計画期間中において成果を出すことは困難な状況である。
				ICT[情報通信技術]等を活用した地域課題の解決（累計）	企画課	5年間で3例	1例	1例	2例		2 まずまず順調に進んでいる	R2：IoT実装推進事業（ドローン活用）により、農業分野における病害の早期検知 R3：ドローン利活用（災害・教育分野） R4：就農希望者マッチングサイト構築、スマートフォンサポーター養成
				健康ステーションの会員数（累計）	健康福祉課	5年後に500人	403人	424人	449人		2 まずまず順調に進んでいる	活動量計については、新規貸出の方もいる中、一定自分の運動量を把握されて返却される方もいるので、のべ人数としては増加している。
				避難路（小規模を含む）、避難場所整備箇所数（累計）	危機管理課	5年後までに25か所	26か所	26か所	26か所		1 順調に進んでいる	自主防災組織と連携して避難訓練を実施しながら地域の状況・要望を把握していく。
				避難所運営マニュアル（2次避難所）の策定率	危機管理課	5年後までに100%	91.4%	100%	100%		1 順調に進んでいる	引続き開設訓練を実施しながら、マニュアルの更新を行っていく。
				個人木造住宅耐震化率	建設課	5年後に50%	42.4%	42.8%	43.7%		2 まずまず順調に進んでいる	申請件数は常に一定数あるが、目標値到達には厳しい状況。今後も住民周知等を積極的に行い、耐震化を促進していく。